



メディカルクリエーションふくしま 2021 開催案内

メディカルクリエーション ふくしま2021 WEB

『第17回医療機器設計開発・製造に関する展示情報展』がWebで開催されます。コロナ禍の状況下でもあり、昨年同様にオンライン(Web)で、10月～来年2月までのロングラン開催となります。イベント開催期間中は、ビジネス交流を、双方向でのオンラインマッチング(Webマッチング)ができます。また、期間中にはLIVEセミナーやLIVE出展者プレゼンテーションも実施されます。

当機構は、インキュベーションセンター施設と入居企業の紹介をします。是非、来場登録をしていただき、同展へのアクセスをお願いします。

■日時:

オープンイベント

2021年10月13日(水) 16:00~17:00

メインイベント

2021年10月28日(木)~29日(金) 10:00~16:00

クローズドイベント 2022年2月10日(木) 後日案内

■会場:メディカルクリエーションふくしま2021

特設サイト <https://www.fmdipa.jp/mcf/>

■主催:メディカルクリエーションふくしま実行委員会

■問合せ:(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

TEL:024-926-0344

FAX:024-943-4441

E-mail:techno@nm.net6.or.jp



医療福祉産業創成フォーラムを開催

圏域内のものづくり企業の技術力を生かして、医療分野への進出を目指す企業を対象としてその心構えや現場の考え方をお伝えします。



■日時:11月5日(金) 13:00~15:00

■会場:①日本大学工学部

②オンラインによるハイブリッド開催

■内容:

第一部 特別講演

「ものづくり企業による医療機器分野への参入について」

(一社)日本医工ものづくりコモンズ 谷下一夫理事長

第二部 パネルトーク

「医療機器分野参入を考えるものづくり企業に求められるもの」

<コーディネーター> 日本大学工学部教授 片岡則之氏

<パネリスト>

(一社)日本医工ものづくりコモンズ 理事長 谷下一夫氏

総合南東北病院臨床工学科 技士長 安藤啓子氏

ふくしま医療機器開発支援センター センター長 小林利博氏

■詳細・お申し込み:下記HPをご確認ください。

<https://www.techno-media.net6.or.jp/>

■主催・問合せ:

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

TEL:024-947-4400

FAX:024-947-4475

E-mail:info@nm.net6.or.jp

「RPA セミナー2021 in 郡山」

働き方改革の一環として期待されているRPA。これからDXに取り組む中小企業の皆様にとっても欠かせないものだと思います。

RPAを身近なものに感じていただき、業務効率化、生産性向上に役立てていただけるように、様々な活用方法や事例等をご紹介します。

プログラミングの知識がなくても、どなたでもご参加いただけます。



■日時:10月27日(水) 14:00~16:00

■会場:ZoomによるWebセミナー

■参加費:無料(お申し込みの方に後日URLをご案内いたします)

■定員:50名

■対象:中小企業の経営者や従業員、ご興味のある方

■講師:日本RPA協会、ソフトバンク、

福島コンピューターシステム、

FCEプロセス&テクノロジー

■詳細・お申し込み:下記HPをご確認ください。

<https://www.techno-media.net6.or.jp/>

■主催・問合せ:

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

TEL:024-947-4400

FAX:024-947-4475

E-mail:info@nm.net6.or.jp



技術が夢をつくる ～マイスターズ・カレッジ2021開講～

8月24日、日本大学工学部次世代工学技術研究センターで、産学連携製造技術人材育成事業「マイスターズ・カレッジ2021」の開講式を行いました。

開講式では、主催者である当機構の福内浩明常務理事が挨拶し、共催している日本大学工学部根本修克学部長が祝辞を述べました。

式終了後、日本大学工学部機械工学科 武藤伸洋教授が「アフターコロナ時代のロボット技術」をテーマに基調講演を行いました。

「製造業DX基礎コース」は、FA・IoT技術を学び、将来のSIer候補者となる実務者を育てる講座、「製造業マネージャー育成コース」は、品質管理、原価管理等の基礎を学ぶ技術者を育てる講座で、受講生は更なる技術の進化を目指して受講しています。



武藤教授による基調講演

最先端のデジタルファクトリーへ ～ロボコム・アンド・エフエイコム(株)南相馬工場視察～

8月31日、今年6月に開所したばかりの「ロボコム・アンド・エフエイコム(株)南相馬工場」で視察研修を行いました。

視察では、展示場にある様々なロボットデモ機による実演と詳しい解説を聞きながら、最新鋭のロボット技術を学びました。

また、金谷氏を講師に迎え、「構想設計の重要性」や「全体最適化されたスマートファクトリーの構築手順」をテーマに講座を行い、物流・加工・組立等、ロボットを含めた各システム間をネットワークでつなぎ、生産管理等を一元管理するスマートファクトリーの仕組みを学びました。



メインエントランスでの集合写真

REIF ふくしま 2021 の延期のお知らせ

前号 Vol.138でご案内しました「REIFふくしま2021」は、新型コロナウイルス感染拡大により日程の変更がありましたのでお知らせします。

<延期後の日程等>

- 日 程: 令和4年2月2日(水)～3日(木)午前10時～午後5時
- 場 所: 福島県産業交流館(ビッグパレットふくしま)

Technological Column(今月のコラム)～新技術情報などを毎月紹介します～



技術コーディネーター
内田 吉孝

今回は、ニューノーマルとしてのDX(デジタルトランスフォーメーション)について、よもやま話をしたいと思います。以前のコラムで当機構技術コーディネーターによるDXの話題提供がなされました。しかし、多くの中小企業の皆様においてはDXの捉え方は、「デジタル化による業務効率改善、省人化、売上/利益向上、等々」と何となく理解はするものの、初期投資はどの程度などと考えると容易に行動に移せないのが現実かと思います。

しかし、着実に大手企業はDX化を推進させており、このコロナ禍におけるニューノーマル時代でビジネス形態も今後益々変わってくるでしょう。顧客対応も「電話」や「訪問」から「ネット商談」へと徐々に移行し、またサプライチェーンとして企業存続のためのBCP拡充も必要になると思います。DXありきで考えると、課題は山積みするばかり。

まずは、身近に出来ることから始めませんか? 売上管理や受注管理のデジタルデータ化やペーパーレス化などをはじめ、開発設計書類等にも拡げて社内部門間ローカルネットワークの構築に繋げましょう。徐々に効果が分かり易く、また見える化出来ることで社員の意識にも変化が出てくると考えます。資金に関しては、補助金制度なども活用出来ますので、足踏みされている経営者の方々は、企業存続に向けて検討してはいかがでしょうか。ご清聴ありがとうございました。

